

資料番号	11
------	----

令和4年5月19日
課名 商工労働局産業人材課
担当者 課長 藤井
内線 3416

## 広島県リスクリング推進検討協議会の開催状況について

### 1 要旨

デジタル化が進展する中、生産性の向上や新たな価値創造、成長分野での競争力強化に資するリスクリングを推進するとともに、将来の需給ギャップに対応した円滑な労働移動の実現を目指し、習得が必要なスキルの明確化、働きながら学ぶ労働環境や雇用管理のあり方、労働市場の流動化に向けた社会システム等の課題などについて、公労使で検討するための協議会を設置し、第1回協議会を開催した。

### 2 開催概要

(1) 日時 令和4年4月25日(月) 15:00～16:00

(2) 場所 県庁北館 第1会議室

(3) 参加者

役職	職名	氏名	摘要
会長	広島県知事	湯崎 英彦	
委員	広島県商工会議所連合会会頭	池田 晃治	
	広島県経営者協会会長	西川 正洋	
	広島経済同友会代表幹事	武田 龍雄	(代理出席)
	日本労働組合総連合会 広島県連合会会長	大野 真人	
	広島市立大学大学院教授	前田 香織	
	県立広島大学大学院教授	木谷 宏	
オブザーバー	中国経済産業局地域経済部長	下出 政樹	
	広島労働局職業安定部長	田中 誠一	

(4) 議事

- ・協議会設置等について事務局より説明
- ・検討の方向性とスケジュールについて事務局より説明
- ・論点と今後の進め方についての意見交換
- ・有識者プレゼンテーション

「失業なき成長産業への労働移動～世界の最新動向と先進プラットフォーム～」

講師：後藤宗明氏（一般社団法人ジャパン・リスクリング・イニシアチブ代表理事）

### (5) 主な委員のコメント

- ・リスクリングを行うことで企業と従業員がウィンウィンの関係になる。各企業が取り組まなければ生き残れないというくらいの気持ちで取り組むべき。
- ・経営陣の覚悟、意識付けも重要である。
- ・リスクリングの推進は大賛成である。各社が本気で取り組むことで広島県の生産性を高めるだろう。
- ・働きがいの1つのテーマとして、会社がリスクリングを進め、学ぶことが自らの成長や働きがいにつながるシナリオで進めるがよいのではないか。
- ・デジタル化だけを進めると雇用の喪失に繋がりがねないので、デジタル化とリスクリングをセットで進めるべきである。

### 3 今後のスケジュール

	R4 上期	R4 下期	R5 上期
協議会	・第1回 (4/25)	・第2回 (中間まとめ)	・第3回 (最終報告)
分科会	・雇用環境分科会 ・スキル分科会	・分科会 ・分科会	・分科会